

## 欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2011年8月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2011年8月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いです。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽熱:スペイン】アクシオナ、コルドバで太陽熱発電所を稼働
- 【太陽光:英国】テムズウォーター、国内最大級の太陽光発電を導入
- 【風力・太陽光:英国】イケア、英国で再生可能エネルギーを本格導入
- 【風力:スイス、ドイツ】ABB、北海の洋上風力発電所向け送電網供給
- 【風力:EU】欧州の風力発電、2020年までに現在の3倍に拡大
- 【風力:デンマーク】ベスタス、ブラジル初の組立工場設立
- 【バイオガス:ドイツ】エーオン、バイオガスを天然ガスパイプラインに注入
- 【水力:ドイツ】RWE、ドイツ鉄道にグリーン電力供給
- 【政策:EU】欧州委、183件の環境プロジェクトを助成
- 【政策:EU】欧州委、バイオ燃料を検証する認証制度を承認

--- ニュース -----

### 【太陽熱:スペイン】アクシオナ、コルドバで太陽熱発電所を稼働

スペインのインフラ企業アクシオナの再生可能エネルギー子会社アクシオナ・エナジーは7月19日、2億4,700万ユーロを投じてスペイン南西部コルドバに設置した容量50MW規模の太陽熱発電所の運転を開始したことを発表した。アクシオナが国内で稼働した太陽熱発電所としては4つ目。今回の稼働で、同社の太陽熱発電による総設備容量は200MWとなり、国内シェアを23.5%に伸ばした。同社はさらに、国内5つ目の太陽熱発電所を建設中で、2012年末までに稼働させる見通し。スペインの太陽熱発電協会(Protermosolar)によると、スペイン国内で稼働中の太陽熱発電は、今回稼働した発電所を含めると合計852.4MWで、さらに1.6GW相当の建設が認可申請されている。

ニュースリリース:

[http://www.acciona-energia.com/press\\_room/noticias/noticias\\_externas.aspx?id=11084&page](http://www.acciona-energia.com/press_room/noticias/noticias_externas.aspx?id=11084&page)

### 【太陽光:英国】テムズウォーター、国内最大級の太陽光発電を導入

英国の大手水企業テムズウォーターは8月1日、700万ポンドを投じ、ロンドンに保有する淡水化プラントなど3カ所の施設の屋上に太陽電池パネルを設置する計画を発表した。パネル設置や向こう25年間の電力供給事業は英国の太陽光発電デベロッパーEnnoviga社に委託する。完成後の年間発電量は4.5GWh(ギガワット時)超で、英国内の太陽光発電プロジェクトとしては最大級となる。この3カ所が稼働した後、さらに最大100カ所の小規模施設にも太陽電池パネルの設置を進める予定で、最終的に同社の年間電力需要1,180GWhのうち、1%相当を太陽光発電で賄いたいとしている。テムズウォーターは2015年までに1990年基準で20%の二酸化炭素(CO2)削減を目標に掲げており、既に11.4%の削減に成功している。

ニュースリリース:

<http://www.thameswater.co.uk/cps/rde/xchg/corp/hs.xsl/14153.htm>

#### 【風力・太陽光:英国】イケア、英国で再生可能エネルギーを本格導入

スウェーデンの家電大手イケア(IKEA)の英国子会社イケアUKは7月29日、再生可能エネルギー利用に関する2つの計画を発表した。1つはスコットランド北部ハントリーに設置された容量12.3MW規模の風力発電所の買収で、これによりイケアUKの年間電力需要の30%(5店舗の電力需要に相当)をカバーする。同発電所は定格出力1.75MWのタービン7基を有しており、年間電力量は24.7GWhが見込まれている。2つ目は、英国内にある10店舗の屋上に総面積3万1,000平方メートルの太陽電池パネルを設置する計画で、来年3月の完成を目指している。合計3万9,000枚のパネルから得られる年間電力量は1.6GWhに上ると見られておりこれにより各店舗の電力需要の5%を賄うことができる。イケアによると、2つの計画により削減できるCO2の排出量は、年間1万500トンに上る。イケア・グループは、再生可能エネルギーの活用を目指す「Ikea Goes Renewable」プログラムを全世界で展開している。長期的にはすべての店舗・倉庫・配送センター・工場・オフィスの電力需要を再生可能エネルギーで賄うことを目標に掲げている。

ニュースリリース:

[http://www.ikea.com/gb/en/about\\_ikea/newsitem/uk\\_renewable\\_energies](http://www.ikea.com/gb/en/about_ikea/newsitem/uk_renewable_energies)

#### 【風力:スイス、ドイツ】ABB、北海の洋上風力発電所向け送電網供給

スイスの重電大手ABBは8月2日、オランダの送電大手テネット(TenneT)からドイツ沖北海の洋上風力発電所向けに高圧直流送電網を10億ドルで受注したと発表した。400MW級の洋上発電所「Gode Wind II」を含む複数の洋上風力発電所とドイツを結ぶ送電システムの容量は900MWで世界最大級。変電所における電力損失は1%以下に抑えられる。送電システムの稼働開始は2015年が予定されており、完成後は150万世帯以上に再生可能エネルギーを供給することができる見通しだ。これにより削減できるCO2の排出量は、年間300万トン以上に上る。なお、独総合電機シーメンスとイタリアのケーブル大手Prysmianによるコンソーシアムも同日、テネットの独子会社から北海の300~400MW級の洋上風力発電所「Amrumbank West」とドイツを結ぶ高圧直流送電網を受注したことを明らかにした。送電システム容量は690MWで、2015年の操業開始を目指している。

ニュースリリース:

<http://www.abb.com/cawp/seitp202/73b24f512a7591cac12578e0001a63c8.aspx>

[http://www.siemens.com/press/en/pressrelease/?press=en/pressrelease/2011/power\\_transmission/ept201108091.htm](http://www.siemens.com/press/en/pressrelease/?press=en/pressrelease/2011/power_transmission/ept201108091.htm)

#### 【風力:EU】欧州の風力発電、2020年までに現在の3倍に拡大

欧州風力エネルギー協会(EWEA)は8月2日、同日発行したレポート「Pure Power」の中で、欧州連合(EU)加盟国における風力発電による発電量が2020年までに2010年実績の約3倍に達するとの予測を明らかにした。同レポートは、2020年までの域内の洋上・陸上の風力発電プロジェクトへの投資額は1,940億ユーロに上り、風力発電による発電量は2010年の182TWh(テラワット時、域内総需要の5.5%相当)から、2020年には581TWh(同15.7%相当)まで拡大すると予測している。さらに、2030年までには域内総需要の約28%にあたる1,154 TWhが風力発電により賄われる見通しだ。なお、同期間における風力発電容量の伸び率は加盟国によりばらつきがあるが、フィンランド(9.6倍)、ポーランド(9.5倍)、チェコ(7.4倍)などで急速な拡大が見込まれているほか、現在風力発電を持たないスロベニアやマルタなどでも設置が進む見通しだ。また、2020年時点で風力発電が各国の電力需要に占める割合はアイルランド(52%)、デンマーク(38%)、ポルトガル(28%)、スペイン(27%)などで高くなると予測している。

ニュースリリース:

[http://www.ewea.org/index.php?id=60&no\\_cache=1&tx\\_ttnews\[tt\\_news\]=1913&tx\\_ttnews\[backPid\]=1&cHash=e730e0cdca22ba66ec7e694c6edb8bdf](http://www.ewea.org/index.php?id=60&no_cache=1&tx_ttnews[tt_news]=1913&tx_ttnews[backPid]=1&cHash=e730e0cdca22ba66ec7e694c6edb8bdf)

#### 【風力:デンマーク】ベスタス、ブラジル初の組立工場設立

風力タービン最大手のデンマークのベスタスは8月8日、ブラジル東部セアラ州にタービン組立工場を含む事業拠点を設立すると発表した。同拠点の総敷地面積は1万平方メートル。今年の第4四半期に操業開始が予定されている工場ではタービンの中核機器ナセルの組立を行う予定で、完成すると年間生産能力800MWが見込まれている。また、同社は8月4日、インドの発電機メーカーで風力発電所も手がけるPowericaから定格出力1.8MWの風力タービン26基を受注したことを明らかにした。インド西部グジャラート州の47MW級の風力発電プロジェクト向け。タービンの納入は第3四半期中にも開始される。

ニュースリリース：  
<http://www.vestas.com/en/media/news/news-display.aspx?action=3&NewsID=2778>  
<http://www.vestas.com/en/media/news/news-display.aspx?action=3&NewsID=2777>

#### 【バイオガス:ドイツ】エーオン、バイオガスを天然ガスパイプラインに注入

独エネルギー最大手エーオンは7月19日、ドイツ北部でバイオガスを通常の天然ガスパイプライン網に注入する計画を明らかにした。注入は年内にも開始される見通しで、ハンブルク市、シュレスウィヒ・ホルシュタイン州、メクレンブルク・フォアポンメルン州の天然ガス網に1時間当たり約1,700立方メートルのバイオガスが供給される。これにより、約8,000世帯分のエネルギー需要をバイオガスで賄うことになる。バイオガスは天然ガスよりエネルギー容量が低いいため、注入時に補助燃料として液化石油ガスを混合するほか、硫黄や炭酸ガス、水分を除去するなどの調整を行う。エーオンは2012年末までに、同プロジェクトを含むバイオガス注入プロジェクトに2,000万ユーロ以上を投じる方針を打ち出している。

ニュースリリース：  
<http://www.eon.com/en/media/news-detail.jsp?id=10441&year=2011>

#### 【水力:ドイツ】RWE、ドイツ鉄道にグリーン電力供給

独エネルギー2位のRWEとドイツ鉄道は7月25日、再生可能エネルギーによる電力を向こう15年間以上供給する長期契約を交わしたことを明らかにした。RWEの再生可能エネルギー子会社であるRWEインジーがドイツ国内に所有する水力発電所から電力を供給する。年間電力量は900GWhに上り、ドイツ鉄道の長距離列車の約3分の1の運行に必要な電力を賄うことができる。RWEは近年、再生可能エネルギー事業に力を入れており、2013年までに約40億ユーロを同事業に投じる方針。また、ドイツ鉄道は2050年までに使用電力を全て再生可能エネルギー由来に切り替える目標を掲げている。

ニュースリリース：  
<http://www.rwe.com/web/cms/en/113648/rwe/press-news/press-release/?pmid=4006568>

#### 【政策:EU】欧州委、183件の環境プロジェクトを助成

欧州委員会は7月19日、欧州連合の環境プロジェクトの助成プログラム「LIFE+」の対象として183件を選定し、総額2億4,400万ユーロを拠出すると発表した。このうち、気候変動に直接関係するプロジェクトは14件で、1,600万ユーロ超が充てられる。LIFEプログラムは自然保全や気候変動、環境政策、環境教育・コミュニケーション分野を対象とした域内プロジェクトの財政支援を目的に1992年に創設された。同プログラムの第4期目となる「LIFE+」の総予算は21億4,300万ユーロで、2007年～2013年をカバーしている。対象プロジェクトは年次公募され、今年は748件のプロジェクト申請があった。

ニュースリリース：  
<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/11/902&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en>

#### 【政策:EU】欧州委、バイオ燃料を検証する認証制度を承認

欧州委員会は7月19日、バイオ燃料の持続可能性を検証する認証システムとして各国の7つの制度を承認した。EUが定める持続可能性基準は、バイオ燃料の原料確保のために生物多様性や熱帯雨林などが浸されるのを防ぐとともに、同燃料によるCO<sub>2</sub>の排出量を削減させることを目標としている。バイオ燃料利用によるCO<sub>2</sub>排出削減率は現時点で35%だが、2017年には既存生産施設で50%、2018年以降の新設施設では60%に引

き上げられる見通した。今回承認された制度は、ドイツ政府が主導するスキームISCC、フランスの産業スキーム2BSvs、スペインのアベンゴア社が採用する産業スキームRSBA、ブラジルのサウキビ由来のエタノールをカバーするスキームGreenergyのほか、複数の利害関係者による制度である「Bonsucro EU」、「RTRS EU RED」、「RSB EU RED」が含まれる。これらの認証制度は、域内で生産または輸入されるバイオ燃料の持続可能性を検証し、基準を満たした製品に証明書を発行する。第2回目の認証制度の承認は、今年10月に実施される。

ニュースリリース:

<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/11/901&format=HTML>

◆◆◆◆「EBSインサイトレポート・インド版」8月1日販売開始◆◆◆◆

◎躍進するインドの産業 - インフラ・自動車・エネルギー (約100ページ)

力強い成長を続けるインド経済。本レポートは経済と投資環境に関するマクロ情報のみならず、自動車に加え再生可能エネルギー、鉄道、道路など注目を集めるインフラ産業の最新動向と見通しを解説。インドに進出済みの企業はもちろん、これから進出を目指す企業にとって役に立つ情報を満載した。

主な内容

- インドの経済・投資動向と日系企業の進出状況
- 日印CEPAとインドのFTAの動向
- 成長のカギを握るインフラ整備の現状と主要セクターの動向、主要プロジェクト
- 自動車の販売市場、生産の現状と今後の見通し
- 自動車部品の販売動向と見通し
- 政府の自動車関連の政策
- インドにおける乗用車メーカー各社の最新動向
- 需要急増するエネルギー:エネルギー分野の状況
- 再生可能エネルギー分野(風力発電、太陽エネルギー)の現状と可能性
- 石炭・ガス火力発電の動向

価格(PDF・全税別) :18,000ルピー／250ポンド／280ユーロ／1,500AED／  
500シンガポールドル／33,000円(全税別)／410米ドル

レポートの目次・サンプルはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/india/index.html>

◆◆◆◆「EBS産業レポート」2011-12年版 10月初旬販売開始予定◆◆◆◆

◎「欧州エコカーの市場と戦略 - 欧州自動車産業 2011-12年版」(約100ページ)

欧州の自動車市場は大きな転換期を迎えている。ロシア市場や中東欧の一部を除けば規模の成長は頭打ちとなったものの、今や欧州から世界の今後の自動車産業を塗り替えるトレンドが生まれている。厳しい環境規制や様々な産業を巻き込む環境技術、激化する自動車各社の競争を背景にエコカーとエコカーを支える社会基盤が広がりを見せてきた。本レポートでは欧州のエコカー市場とそれを支える環境規制や基盤の最新動向をとらえ、欧州を舞台とした各社の戦略と市場の今後の見通しを明らかにする。また、欧州以外でも主要乗用車メーカーが世界各地で導入を予定しているエコカーをまとめた。さらに、ロシアを含めた欧州自動車の市場・業界全般の過去1年の動きについて、販売・生産統計や各社の展開を中心に網羅する。

主な内容

- 欧州のエコカーと自動車市場をめぐる重要トレンド
- エコカー市場を支えるEUの規制と環境政策
- 電気自動車はじめ欧州エコカー市場の現状と見通し
- 主要乗用車メーカーの欧州を中心とした展開とエコカー戦略
- 各社が世界で今後導入を予定しているエコカーの一覧
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向と市場の見通し

価格(PDF・全税別) :480ポンド／550ユーロ／63,000円

風力発電など一部では2010年に減速感が表れたものの、欧州環境市場の長期的な成長トレンドに変わりはない。低炭素社会への移行に伴い、再生可能エネルギーを中心に息の長い市場拡大が続くと期待される。脱原発を決めたドイツは、従来以上に再生可能エネルギーの利用を促進する方針だ。本レポートは最新の統計データを中心に、欧州環境市場の動きをまとめると同時に、市場拡大の担い手である先進企業100社について、その戦略と最新動向を紹介する。

また、環境市場の動向に大きな影響を与えているのが規制の枠組みだ。2050年までに低炭素経済を構築することを目指すEUの環境規制は、気候変動政策の枠組みだけでなく、今後の資源効率政策によって広範な産業に影響を及ぼす可能性が出てきた。企業にとって制約であると同時に成長のチャンスでもあるEUの環境規制について、過去1年間の新たな規制と今後ウォッチしておきたい協議中の規制の最新動向を解説する。

#### 主な内容

##### 環境市場と先進企業100社(約90ページ)

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2010年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2010年実績と成長見通し
- 各国政府の支援制度の動向
- 分野別の成長予測

##### 環境規制動向(約60ページ)

- 2050年の低炭素経済構築に向けたロードマップ
- 原料戦略と資源効率ロードマップの見通し
- エネルギー効率指令案の概要
- エコデザイン指令の動向
- EU排出権取引の制度動向と炭素リーケージ
- 自動車(乗用車、バン、トラック)のCO2排出規制と乗用車エコイノベーション規則
- スマートシティ/コミュニティの促進
- 過去1年間の主要規制の改正動向
  - WEEE・RoHS指令、廃車指令、REACH、エネルギーラベル
- 留意したいその他の主要規制の今後の動向
  - Fガス規則の改正、エネルギーインフラ・プロジェクト支援に関わる規制、エネルギー新指令 など

価格(PDF・全税別) : 680ポンド/780ユーロ/89,000円

レポートの詳細に関しましては随時ウェブサイトにて告知いたします。

◆◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中! ◆◆-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
  - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
  - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◆◆当サービスのご利用に当たって◆◆-----

★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。

<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。

[news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

発信元◇EBS(UK)Ltd.

1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM

ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: [news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

